

新材料・新工法調査表(2)

実績件数	東京都 : 0件 建設省 : 3件 その他公共機関 : 41件 民間 : 102件	建設省	1 技術活用パイロット : 3件 2 特定技術活用パイロット : 0件 3 試験フィールド : 0件
特許	1 有り (番号 : 5-71214 )	②出願中	3 出願予定 4 無し
実用新案	1 有り (番号 : )	2 出願中	3 出願予定 ④無し
評価・証明	1 建設技術評価 (番号 : ) 2 民間開発建設技術 (番号 : ) ・証明年月日 ( ) ・証明年月日 ( ) ・証明関 ( ) 3 その他 九州建設局新技術活用促進システムに登録済 (QS-980102, 980186)		
キーワード	1 安全・安心 ②環境 3 ゆとりと福祉 ④コスト縮減・生産性の向上 5 公共工事の品質確保・向上 ⑥リサイクル 7 景観 自由記入 現場で再生		
開発目標 (選択)	1 省人化 ②省力化 ③作業効率向上 4 施工精度向上 5 耐久性向上 6 安全性向上 ⑦作業環境の向上 8 周辺環境への影響抑制 ⑨地球環境への影響抑制 ⑩省資源・省エネルギー ⑪出ればえの向上 ⑫リサイクル性向上 13. その他		
従来との比較	従来と材料名・工法名 : 固定式(砕石場) 1 工程 【①短縮 (50%) 2 同程度 3 増加 ( %)】 (搬出搬入工程削減 ) 2 省人化 【①向上 (50%) 2 同程度 3 低下 ( %)】 (搬出搬入人員削減 ) 3 経済性 【①向上 (40%) 2 同程度 3 低下 ( %)】 (運搬費及び材料費の削減) 4 施工管理 【①向上 2 同程度 3 低下】 (廃棄物の現場内管理 ) 5 安全性 【①向上 ②同程度 3 低下】 ( ) 6 施工性 【①向上 ②同程度 3 低下】 ( ) 7 環境 【①向上 2 同程度 3 低下】 (搬出搬入車両の減少 ) 8 汎用性 【①向上 ②同程度 3 低下】 ( ) 9 品質 【①向上 ②同程度 3 低下】 ( ) 10. その他 (産廃(廃コンクリート等)を再生砕石として作業現場内にてリサイクル粒度調整可能)		
【歩掛り表】	標準・ <input type="text" value="なし"/> ・ 暫定 TA50 リサイクル工法は自社開発のプラント車で他社でもクローラ型があるが粒度調整機能がなく同等とはいえない、現在建設省、土木事務所、道路公団等に資料提出中、単価は廃棄物中間処理単価にて計上されている。		
【施工単価等】	※一日→100M3以上、 処理費： 3,600円/m3 (回送費別途、ホッパー投入費別途) ※一日→100M3以下の場合時間当たり、 TA50-I ¥63,000円 TA50-IIⅢ ¥45,000円 TA50-V ¥20,000円		
【施工上・使用上の留意点】	1) 車両の停車するスペースがあれば施工可能 2) 投入最大塊 TA50-I~Ⅲ 300%×500% TA50-V 250%×400%以内(川石・ミカゲ石は不可) 3) 鉄筋は300%以内であれば投入可能(篩機にて入力除去、又木クズ等混入ぶつも同等) 4) 土砂等の混入していない事、(再生砕石に利用する場合)埋め戻しに使用の時は少量混入可能		
【参考文献】	1) 文献名：建設機械94年2月号、出版社：日本工業出版		